

## ～地域防災を考える～「ぼうさい勉強会」が開催されました。(2024.2.10)

子育て世帯や、保育所、地域で様々な支援をしてくださる方から「いざというときどうすればいいの?」という声を聞くことが多いことをきっかけに、帰宅困難者一時滞在施設となっている、社会福祉法人厚生館福祉会 星の子愛児園主催(協力:多摩区役所地域ケア推進課)で、2月10日(土)「ぼうさい勉強会」が開催されました。(於:至誠館なしのはな保育園 さくら乃詩ホール)

当日は、地域住民、菅こども文化センター館長、学校教職員、保育園施設長・職員、老人福祉施設関係者、民生委員、行政職員など40名ほどお集まりいただき、東北大学災害科学国際研究所の村尾修教授の講習を受けました。参加して下さった日本女子大学 薬袋 奈美子教授は、質疑応答の時間に多摩区、稲田堤地区のハザードについてコメントをくださり、たくさんの発見、学びの時間となりました。

参加者のアンケートからは

- メディアで取り上げられている一般的な防災知識と違い、専門的なところがあり基礎から学べたような気がしました。また、将来を担う子供達への教え方など、地域として取り組んで行かなければいけない事、地域の皆で一緒に考え合う事が大切だと感じました。
- 村尾修先生のお話から「災害イマジネーション」についての考え方を改めて学ばせて頂き感謝致します。
- きちんとリスクについて理解するためのツール、目黒メソッドを御紹介いただき、「自分自身が被災した時のイメージはもっと具体的にしないとあまり意味がないのだ」と確認ができました。
- 村尾先生が「災害をどう対応するかについては、人生についてどう生きるかを考えるのと同じです。」とのお話を納得しました。

など、次回も参加したいという声が多く寄せられました。



**参加者募集**

### 地域防災を考える ぼうさい勉強会

いざというとき、どうすればいいの?

川崎市防災対策検討委員会をしている  
東北大学災害科学国際研究所の村尾教授を講師に迎え、  
私たちの街の状況を考慮しながら、  
災害時の不安や悩みを一緒に考える  
“ぼうさい勉強会”を開催します。

**日時** 令和6(2024)年  
2月10日(土)  
13:30~16:00  
(受付開始13:15~)

**場所** 至誠館なしのはな保育園  
1Fホール(休館中)044-944-1105

**対象者** 管轄内に在住、もしくは管に勤務先がある方、「子どもに關わる」地域防災の活動に関心がある方。  
定員50名

**申込方法** 令和6年1月10日~下記の申込フォームから申込  
<締め切りは1月31日>

**【主催】** 星の子愛児園 **申込フォーム**

**【協力】** 多摩区役所地域ケア推進課 **教授・博士(工学)**

**【問合せ】** 担当 岡本・藤巻 **電話:044-944-8181**

**参加費 無料**

【平日10時~17時】

管轄内の地域課題を解決するため、多摩区が昨年設立した「地アフリカ」(アフリカと連携する「地アフリカ」)のプロジェクトの一環として実施されています。